

道路拡幅時などに用いる仮設落石防護柵

バリアウォール

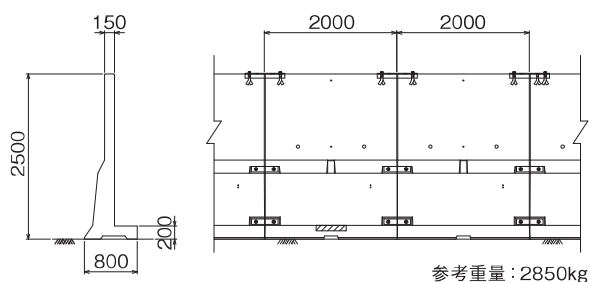


特長

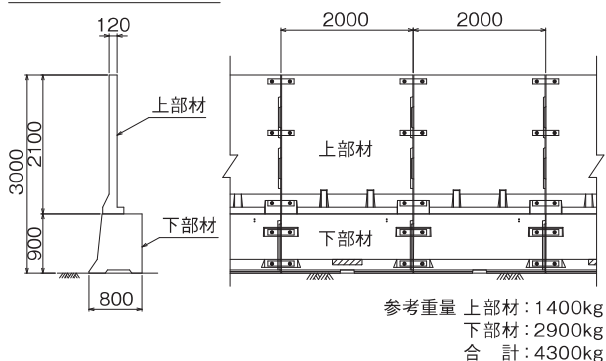
- i 落石防護柵と車両用防護柵の機能を併せ持っています。
- i 延長方向はボルト連結のため設置および撤去が容易です。
- i 舗装面に設置しますので舗装を掘削する必要がありません。
- i 衝突荷重の種別はSB種相当まで対応可能です。

形状図

H2.5m(一体型)



H3.0m(上下分割型)



取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料

バリアウォールの特徴

項 目	内 容					
性能諸元※ (最小設置延長12m)	落石防護柵性能	製品高	落石径	斜面勾配	最大 落下高さ	落石対策便覧 (公社)日本道路協会
		H2.5m	φ200	1:0.5	180m	
			φ300	1:0.5	18m	
		H3.0m	φ300	1:0.5	230m	
	φ400		1:0.5	40m		
	車両用防護柵性能 (H2.5m、H3.0m共通)			SB種相当 (25t-65km/h-15度)		車両用防護柵標準仕様・同解説 (公社)日本道路協会
風荷重 (H2.5m、H3.0m共通)			土工部に設置 (1.5kN/m ² 、設計風速 45m/s)		遮音壁設計要領 NEXCO	
材料の調達	・ バリアウォールは販売を原則としています。 ・ レンタル品の場合は性能に影響の無い欠けやひび割れ品が混ざることがあります。 ・ 採用をご検討いただく場合は事前にご相談ください。					
使用クレーン	・ 25t吊ラフテレーンクレーンの使用を原則としています。					

※設置延長や設計条件が上記によらない場合は別途ご相談ください。

施工状況写真

H2.5mタイプ



H3.0mタイプ

